

全国

ぜんこく
しぎかいじゅんぽう平成22年 6月15日
(2010年)
毎月3回5の日に発行第1763号
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
旬報 TEL 03(3262)2309
発行人 大竹 邦実<http://www.si-gichokai.gr.jp>

市議会旬報



地域主権改革早期実現を

全国市議会議長会は5月26日、第86回定期総会を開催した。会場となった東京・日比谷公会堂には、1500人を超える市議会関係者が集まるなか、五本幸正会長（富山市議会議長）のあいさつで開幕。会長提出による「地域主権改革の推進に関する決議」「地方税財源の充実強化に関する決議」「地方議会議員年金制度の早急な見直しに関する決議」の3件や「口蹄疫対策に関する緊急決議」、部会提出による26件の要望事項についても審議、全会一致で採択した。

また当日は、鳩山由紀夫・内閣総理大臣の

第86回定期総会開き
要望決議3本を採択

祝辞を松野頼久・内閣官房副長官が代読したほか、横路孝弘・衆議院議長の祝辞、原口一博・総務大臣の代理として出席した小川淳也・総務大臣政務官の祝辞を、それぞれ賜った。江田五月・参議院議長からはメッセージが寄せられ、来賓祝辞に続き披露された。

このほか総会では、新たに市制施行した8市の紹介、正副議長・議員の永年勤続者の表彰、各委員会の活動報告などが行われ、盛会のうちに全日程を終了した。

なお翌27日、651市の議長が皇居・豊明殿へ参殿し、天皇陛下への拝謁の栄に浴した。

地域主権改革の推進を

会長提出決議、部会提出要望26件可決



五本会長のあいさつで開幕

第86回定期総会は定刻の10時30分、五本会長のあいさつで開幕した。

冒頭、五本会長は国と地方の協議で議論される、義務付け・枠付けの見直しや一括交付金について「地域主権改革の推進のため積極的に発言していく」との決意を示した。



およそ1500人が集結した日比谷公会堂

また、五本会長は、極めて厳しい財政状況にある地方議員年金について、議員負担と公費負担の割合を5対5とするなどの本会案を主張するとともに、政府に対し早急に見直し案を示すよう求めた。

次に来賓から祝辞があり、はじめに鳩山由紀夫・内閣総理大臣に代わり、松野頼久・内閣官房副長官が登壇し、祝辞を代読。続いて横路孝弘・衆議院議長が登壇し祝辞を述べた。また、原口一博・総務大臣に代わり、小川淳也・政務官が祝辞を述べたほか、江田五月・参議院議長からのメ

ッセージが披露された。4・5面に来賓祝辞を掲載。

次に昨年の総会以降、新たに市制施行した福岡県糸島市、愛知県みよし市、滋賀県近江八幡市、愛知県あま市、埼玉県加須市、久喜市、鹿児島県姶良市、栃木県栃木市の8市が紹介され、代表して糸島市の有田議長があいさつした。

続いて表彰式を行い、永年勤続の正副議長121人と議員2342人、合計2463人が表彰された。正副議長表彰受賞者を代表して三上敏・前宮古市議会議長が、議員表彰受賞者を代表して外村昭・海老名市議会議長が表彰状を受領。三上前宮古市議長が代表して謝辞を述べた。6面に特別表彰の受賞者名を掲載。

午後からの議案審議では、北海道、東北など9部会から提出された要望事項26件を可決するとともに、会長提出による「地域主権改革の推進に関する決議」「地方税財源の充実強化に関する決議」「地方議会議員年金制度の早急な見直しに関する決議」の3件を原案どおり採択した。また、感染拡大の防止対策に緊急に求める「口蹄疫対策に関する緊急決議」を可決した。

このあと、任期1年と規定されている部会長、理事、評議員などの役員改選を行い、各部会推薦のとおり選任。顧問と相談役の委嘱も行われ、顧問には本会元会長で現参議院議員の二之湯智氏、同小泉昭男氏が、相談役には前・元会長、前副会長、政令指定都市の議長が就任した。

地域主権の確立を最重点政策として掲げる鳩山内閣では、今通常国会に地域主権改革関連3法案(国と地方の協議の場に関する法律案、地域主権改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案及び地方自治法の一部を改正する法律案)を提出し、現在、衆議院において審議が行われている。

国と地方の協議の場の法制化は、地方六団体がかねてから求めてきたものであり高く評価できるが、義務付け・枠付けの見直しは、地方分権改革推進委員会の勧告で示され

た見直しの一部にとどまっておらず、不十分なものと言わざるを得ない。

また、政府は、今夏の地域主権戦略大綱の策定に向けて、義務付け・枠付けの見直しの追加計画、基礎自治体への権

務省に地方行政検討会議が設置され、議会と長の関係、議会のあり方等について議論がなされている。

地域主権改革の進展に伴い、地方公共団体の自己決定・自己責任の範囲が拡大す

地域主権改革の推進に関する決議

(要旨)

1. 国と地方の役割分担の見直しと都道府県から市への権限移譲

2. 義務付け・枠付けの見直しと条例制定権の拡大

3. 国と地方の二重行政の解消等による行政の簡素化

4. 地方議会議員の法的位置付けの明確化

5. 地方議会の権能強化

会長提出決議案 9部会提出議案

原案どおり可決

総会では、会長提出決議案3件と、9部会からの提出議案26件が審議、可決された。また、「口蹄疫対策に関する緊急決議」についても可決された。件名は次のとおり。

- ① 義務付け・枠付けの見直し (東海)
- ② 地方財政の充実 (東北)
- ③ 国による制度創設や改正時におけるコンピュータシステム構築や改修について国の責任で行うこと (関東)
- ④ 北方領土問題の早期解決等 (北海道)
- ⑤ 少子化対策の推進 (北信越)
- ⑥ 子ども手当にかかる地方負担 (中国)
- ⑦ 子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める要請 (中国)
- ⑧ がん検診推進事業の公費負担等の拡充 (東海)
- ⑨ 国民健康保険制度の充実強化 (東北)
- ⑩ 介護保険事業に係る公費負担の拡充における財政措置 (四国)
- ⑪ 生活保護に関する意見書 (関東)
- ⑫ 自治体病院の医師確保対策並びに財政支援措置の充実強化等 (九州)
- ⑬ 地域職業訓練センターの機能維持 (北海道)
- ⑭ 学校教育施設の耐震化事業推進 (近畿)
- ⑮ 地球温暖化対策に寄与する機器の導入に対する支援の拡充 (東海)
- ⑯ 林業の再生 (九州)
- ⑰ 道路交通網の整備促進 (東北)
- ⑱ 一般国道470号能越自動車道の整備促進 (北信越)



議長説明担当市の議長ら

- ⑲ 道路整備の促進 (関東)
- ⑳ 近畿北部地域の道路交通網整備 (近畿)
- ㉑ 九州における高速交通網の整備充実 (九州)
- ㉒ 北海道新幹線の建設促進 (北海道)
- ㉓ 北陸新幹線の早期整備 (北信越)
- ㉔ 地方の公共交通の維持存続に向けた国の支援制度の充実 (四国)
- ㉕ 海上交通の持続的な維持、確保 (中国)
- ㉖ 郵政改革に関する要望 (中国)

現下の地方財政は、景気後退による税収減や、少子高齢化の進行による社会保障費の増嵩などにより、危機的な状況が続いている。

このような中、平成22年度地方財政対策においては、地方交付税の増額や臨時財政対策債の大幅な増発等により所要の財源が確保され

たところである。

今後も基礎自治体としての市が、地域住民のニーズに応え、福祉、教育などの市民生活に欠かすことのできない行政サービスを提供し、地域の活性化を図っていくためには、持続的かつ安定的な行財政運営が可能となる地方税財源の充実強化が不可欠である。

地方税財源の充実強化に関する決議

(全文)

- よって、国においては、下記事項を実現するよう強く要望する。
- 記
1. 地方交付税の法定率の引上げ
地方交付税については、地方財政計画に地方の財政需要を的確に反映することにより
 2. 地方税源の充実強化
地方が担うべき事務と責任に見合うよう、国税と地方税
 3. 補助金の一括交付金化
補助金の一括交付金化に当たっては、地方の自由度が拡大するものとなるような制度とする
 4. 子ども手当財源の全額国庫負担
平成23年度以降の子ども手当の制度設計に当たっては、国の責任において全額を国庫で負担することとし、地方への財政負担は一切求めないこと。
- 総額を増額すること。
財源不足額については、赤字地方債である臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより必要額を確保すること。
- 地方自治体の事業執行に必要な総額を確保すること。
子ども手当財源の全額国庫負担
平成23年度以降の子ども手当の制度設計に当たっては、国の責任において全額を国庫で負担することとし、地方への財政負担は一切求めないこと。

口蹄疫対策に関する緊急決議

(全文)

本年4月、宮崎県で発生した家畜伝染病「口蹄疫」に対し、現在、関係自治体や関係機関・団体が懸命な防疫対策に取り組んでいるが、いまだ終息の兆しは見えず、さらに感染が拡大することも危惧されている。

今回の事態により、殺処分や移動制限区域、搬出制限区域に指定された畜産農家に与

- える経済的損失には多大なものがあり、家畜市場への出荷中止などによる地域経済に与える影響も甚大である。
- 記
1. 防疫体制の強化を図り、感染拡大の防止に万全を期すこと。
 2. 被害を受けた畜産農家及び関連産業の損失を補填するとともに、経営の再建・安定のために万全の措置を講ずること。
 3. 関係自治体を実施する事業に要した費用については、十分な財政支援措置を講ずること。
 4. 風評被害の防止対策を徹底すること。

日頃から、地域社会の最前線に住民の代表者としてご尽力頂いている皆様に対し、心より敬意を表します。

地域のことは地域で、その地域に住む住民が責任を持って決める、この地域主権の実現は国の形の一大改革であり、鳩山内閣の改革の1丁目1番地であります。現在、国と地方の関係を上下の関係ではなく対等なものとするために、国と地方との協議の場設置法案や、地方議会の議決案件の範囲の拡大や、議員定数の法定上限の撤廃等と内容とする地方自治法の改正法案を国会に提出しており、この成立を図ってまいります。

さらに、私が議長を務めている地域主権戦略会議では、地方に対する不必要な義務付



地域主権の実現で一大改革を

〔祝辞〕内閣総理大臣 鳩山由紀夫

(代読) 松野頼久・内閣官房副長官

補助金の一括交付金化、出先機関の抜本的な改革などを精力的に議論しており、これらを含めた地域主権戦略大綱を、本年夏を目途に作成する予定であります。

市町村の役割はさらに増大し、市町村議会の責任も大きくなります。皆様におかれましては議会の権能をますます発揮されますよう、心からお願い申し上げます。

また、口蹄疫の被害に遭われた宮崎県の畜産農家の皆様に対し、心からお見舞いを申し上げます。口蹄疫の発生は危機管理上、重要な課題であるとの認識のもと、私を本部長とする対策本部を政府内に設置し、全力で防疫対策に取

り組んでおります。これからも断固たる決意を持って蔓延の防止を図るとともに、農家の皆様の不安を払拭できるよう万全の態勢を講じていきたいと考えております。

結びに全国市議会議長会の一層のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

平成22年5月26日

内閣総理大臣 鳩山由紀夫

(要約)

行財政・税制面での貢献誓う

〔祝辞〕総務大臣 原口 一博

(代理出席) 小川淳也・総務大臣政務官

全国市議会議長会第86回定期総会のご開催、まことに

めでとうございます。心よりお慶び申し上げます。



新政権発足直後から、新たな過疎法の制定に向けた取り組み、地域の持久力を高めるための緑の分権改革、定住自立圏の推進、そして先頃よりお話が出ております口蹄疫対策に対する過去に例のない交付税措置の推進、さらに議員年金でも何かとご心配をおかけしております。大変難しいテーマですが諸課題の解決に向け、今しばらくお時間を頂戴したうで議長会の皆様に

不安のない、かつ国民の皆様の理解を得られるよう、責任を持つてお預かりをさせて頂きたいと考えております。

さらに今年度は交付税の1兆円余りの増額、この間、大変厳しい環境に置かれてまいった地方自治体の皆様に、少しでも住民サービス、また、地域の振興・発展のために充てて頂きたい、そのような思いで政府を挙げて取り組みを進めてまいりました。

まだまだ、課題は山積しております。既に五本会長、松野副長官、横路衆院議長からお話がありましたとおり、これから地方の自由度をさらに高めていかなければなりません。

今後とも、総務大臣以下、地方の行財政・税制全般を預かる立場から、皆様に力強く貢献をし、皆様のご活躍頂く環境を整えることをお約束申し上げ、本日のお慶びのご挨拶とさせていただきます。(要約)

国会審議で地域主権を後押し

「祝辞」衆議院議長

横路孝弘

皆さん、おはようございます。全国市議会議長会第86回定期総会の開催に当たり、一



言ご挨拶を申し上げます。

平成11年以降、政府主導で進められた平成の大合併も、

本年3月末をもって合併特例の適用期限が到来し、1つの節目を迎えました。合併を通じて行政基盤の強化、行政の効率が進んだ市もあるうかと思いますが、多くの市では依然として厳しい状況に置かれているのではないのでしょうか。

三位一体改革で受けた地方交付税の削減、不況による税収の落ち込みなどにより地方財政が逼迫する一方、少子高齢化・人口減少社会が待ったなしで進行する中で、子ども

の保育や教育、医療や高齢者の介護、産業の振興など、各自治体でやるべき仕事は山積していることと思います。

このような状況のもと、本日お集まりの皆様方におかれましては、住民の声を最前線で受けとめる市議会の長として、住民生活の向上や魅力ある地域の創造のために、日頃から大変ご苦労されていることと存じます。

皆様からは、地方の財源や権限の充実、国による義務付けや枠付けの見直しなど、地方が自らできることを増やしてほしいという切実なご要望を頂いております。

政府では、地域のことを地

域で決める地域主権改革を推進しておりますが、国会におきましても予算や関連法案の審議などを通じて、国と地方のあり方について議論を重ねていくところです。国会として

も、地域の声に耳を傾け、真摯に議論を尽くしてまいりたいと存じます。（要約）

本会フォーラム開催で大分市議長があいさつ



地方議会は民主主義の原点

江田五月・参議院議長からのメッセージ

う、議長の皆様の手腕に期待しています。

全国のおよそ800の市から市議会議長をはじめ関係の皆様がお集まりになり、全国市議会議長会第86回定期総会が盛会のうちに開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。本来であれば出席してご挨拶を申し上げるべきところ、本日は参議院本会議のため出席できず、残念です。

市議会議長の皆様は、議会の舵取りはもちろんのこと、市民の代表として日夜さまざま

まな声をすくい上げ、市政の向上に力を尽くしておられます。同じ議員、議長の一人として、日頃のご労苦に深く敬意を表します。また、このたび、議会への長年のご貢献により栄えある表彰を受けられる皆様に、心からお祝いを申し上げます。

地方議会は地域住民にとって最も身近な議会であり、民主主義の原点です。近年は、

かわり、発言し、行動することが必要と考えていますが、その際、討議や論戦を通じて論点を深め、妥協点を探って、成案を得るという議会の

参議院は、先日、国と地方の協議の場設置法案など、地域主権3法案を可決して衆議院に送ったところで、国と地方の新たな関係が始まるうとし

ています。厳しい地方の状況を好転させるには大変な困難を伴いますが、市議会におかれましては、市議会における市民の政治参加を喚起し、市民生活の向上につながるよう、協力をお願い致します。

結びに、全国市議会議長会のみまますのご発展とご列席の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りして、お祝いの言葉と致します。

平成22年5月26日

参議院議長 江田五月

いと決意をしております。ご列席の皆様方におかれましては、我が国の地方自治の発展のために、さらに地域の大いなる発展と振興のために、なお一層ご活躍されますことを期待致しまして、私のご挨拶と致します。（要約）

本会の第5回研究フォーラム開催地となる大分市の仲道俊寿議長が、第86回定期総会の出席者へ、フォーラム参加に対する歓迎の意を表した。

第5回フォーラムは、大分市内の「ichiko総合文化センター」を舞台とし、10月20日・21日の両日にわたって開催される。

1日目は、河野洋平・前衆議院議長による「衆議院議長を辞めて昨今思うこと」と題した基調講演ののち、「地方議会のあり方―定数・報酬はどうあるべきか」をテーマにパネルディスカッションが実施される。

2日目は、辻山幸宣・中央大学大学院公共政策研究科客員教授がコーディネーターを務め、政治倫理条例 議会の調査権――の2点をテーマに課題討議が実施される。

特別表彰受賞者

正副議長8年以上
議員20年以上

定期総会での正副議長、議員の永年勤続表彰者は、特別表彰、一般表彰合わせて2463人。内訳は次のとおり。

◆特別表彰 正副議長12年以上11人 同8年以上5人 議員40年以上2人 同35年以上99人 30年以上56人 25年以上46人 20年以上143人

◆一般表彰 正副議長4年以上115人 議員15年以上1184人 同10年以上812人

本紙では、紙面の都合により、特別表彰の正副議長8年以上、議員30年以上の所属議会と氏名を掲載します。(敬称略、5月26日の定期総会時の被表彰者名簿順)

【正副議長12年以上】

宮古 三上敏

千晴 村上 佐藤宮吉 燕 本多一 金沢 升きよみ

章 川口 金子信男 加須 小坂徳蔵 鴻巣 長嶋元種

【正副議長8年以上】
根室 熊谷雅史 高梁 村上信吾 みやま 牛嶋利三

大野 榮正夫 中野 荻原勉 小平 鴨打喜久男 東村山 田中富造 国分寺 釜我健

草加 吉澤哲夫 鳩ヶ谷 中山茂 千葉 松戸敏雄 松

雲仙 酒井八洲仁 南城 川平善範

二 千代田 中村恒雄 中央 守本利雄 港 島田幸雄

渡辺専太郎 台東 木村肇 墨田 西恭三郎 豊島 河野

【議員40年以上】
海老名 外村昭 土佐 森本耕吉

たえ子 北 中川大 林千春 八百川孝 板橋 木下達雄

津島 戸 小沢曉民 成田 馬込勝未 佐倉 木原義春 望月清

【議員35年以上】
札幌 湊谷隆 網走 奥出宣勝 江別 五十嵐忠男 土別 斉藤昇 紋別 柴田央

長塩英治 大和 窪純 伊勢原 石井誠一 高萩 矢代洋三 筑西 鈴木聰 宇都宮 鎌倉三郎 足利 石原辨治

高崎 清水一郎 館林 小林信 町井猛 渋川 新井晟久

滝川 井上正雄 奥州 及川善男 仙台 大泉鐵之助 男鹿 杉本博治 佐藤巳次郎

高崎 清水一郎 館林 小林信 町井猛 渋川 新井晟久

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎

山形 高橋嘉一郎 新庄 亀井信夫 新潟 渋谷明治 新

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎

井信夫 新潟 渋谷明治 新

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎

井信夫 新潟 渋谷明治 新

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎

井信夫 新潟 渋谷明治 新

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎

板倉和男 富岡 泉部敏雄 さいたま 福島正道 山崎



表彰状を代表して受領する外村昭・海老名市議会議員(右・議員40年以上で特別表彰を受賞)

地方議会の権能強化

表彰受賞者を代表してあいさつする三上敏・前宮古市議会議員(正副議長12年以上で特別表彰を受賞)



【議員30年以上】

函館 出村勝彦 室蘭 羽立秀光 深川 渡辺英雄 十

和田 戸来傳 竹島勝昭 三沢 堤喜一郎 小比類巻種松

森三郎 仙台 郷湖健一 石巻 高橋健治 大崎 小沢

和悦 尾花沢 笹原光政 中野 岩本博次 横須賀 高橋

敏明 神保浩 藤沢 矢島豊海 秦野 横溝泰世 和田厚

行 海老名 重田保明 葦崎 土屋泰一 水戸 高橋丈夫

日立 内山英信 結城 植木勇 下妻 石塚秀男 磯

篠島昌之 鹿沼 芳田利雄 春日部 小島文男 深谷 今村三治 蕨 志村茂 桶川

高野和孝 千葉 西巻義通 柏 佐藤勝次郎 富津 高

梨良勝 知多 森田 一 岸和田 村野精 東大阪 藤本卓

司 茨木 山下慶喜 向日 太田秀明 丹野直次 大津 八木修 奈良 松石聖一 笠

岡 奥野泰久 栗尾順三 福山 背尾博人 蔵本久 府中

小田敏雄 西条 青野貴司 莚田元近 四国中央 新谷

末次 四万十 渡邊大東 福岡 高山博光 行橋 徳永克

子 豊前 吉永宗彦 宇佐 橋本正範 名護 大城敬人

徹

井ノ口邦彦 名護 具志堅

平成21年度市議会議員共済会決算 (要旨)
(平成22年3月31日現在)

給付経理 (給付に要する費用) (単位: 千円)	
1 収支の状況	
(1) 収入総額	40,417,981
(主な収入の内訳)	
ア 給付費負担金	18,711,241
イ 掛金	18,144,234
ウ 特別掛金	3,163,287
エ 利息及び配当金	246,620
(2) 支出総額	53,118,185
(主な支出の内訳)	
ア 退職年金	37,277,541
イ 退職一時金	1,601,529
ウ 遺族年金	11,175,668
エ 遺族一時金	99,047
オ 財政調整拠出金	2,681,000
(3) 収支損益額 ((1) - (2))	△12,700,204
平成21年度は収入総額より支出総額の方が上回ったため、127億20万4千円の当期損失金となった。このため、前年度の給付積立金351億3,631万2千円を取り崩して平成21年度の給付に要する費用の不足金に補てんした。これにより、平成22年度に繰り越した給付積立金は224億3,610万8千円となった。	
2 主な資産の内訳	
(1) 預金	6,613,923
(2) 投資有価証券	1,699,192
(3) 有価証券信託	1,004,400
(4) 生命保険	13,388,467

業務経理 (事務に要する費用) (単位: 千円)	
1 収支の状況	
(1) 収入総額	288,954
(収入の内訳)	
ア 事務負担金	287,246
イ 議員一人当たり13,000円×議員定数	1,708
(2) 支出総額	250,911
(支出の内訳)	
ア 役員報酬及び職員給与	91,925
イ 旅費及び事務費	53,724
ウ その他	105,262
(3) 収支損益額 ((1) - (2))	38,043
平成21年度は収入総額の方が支出総額より上回ったため、3,804万3千円の当期利益金となった。このため、前年度の剰余金2億7,270万7千円に当期利益金を上乗せした。平成22年度に繰り越した剰余金は3億1,075万円となった。	

五本会長が会議冒頭に挨拶

平成21年度決算を認定
市議会議員共済会が代議員会開く

市議会議員共済会(会長 五本幸正・富山市議会議長)は5月27日、東京・ベルサール九段で第100回代議員会を開催した。会議では、平成21年度決算を認定するとともに、役員の異動、会員の異動、退職年金をはじめとする共済給付金の決定状況などについて報告があった。

また、会議では、年金給付に充てられる「給付経理」、共済会の事務費用に充てられる「業務経理」、それぞれについて平成21年度会計決算 Ⅱ左掲 Ⅱが認定された。年金と一時金の給付に要する「給付経理」をみると、会員からの掛金などによる収入総額は約404億円、給付金支給などによる支出総額は約531億円となっており、約127億円の単年度赤字が発生した。このほか、地方議会議員の年金問題が正念場を迎えるなか、「地方議会議員年金制度の早急な見直しに関する決議」Ⅱ下掲 Ⅱが採択された。

地方議会議員年金で決議
制度見直し本会案で地方議会議員年金制度の
早急な見直しに関する決議

市町村議会議員の年金財政は、現在、極めて厳しい状況におかれている。

これまで収支を改善するため、平成14年及び18年の2度にわたり、給付と負担の大幅な見直しが行われたものの、市町村合併の影響はさらに大きく、市・町村共済会の積立金は急減した。

このままでは平成23年度初頭には年金・一時金の給付が不可能となり、何らかの財政的な手当てが講じられない場合には市町村議会議員の年金財政は破綻することとなる。

このことから、総務省に設置された検討会において、地方議会議員年金制度の見直しについての検討が行われたが、本会では、全国各市区での議論を踏まえて本会案を取りまとめ、提案したところである。

政府においては、見直しについて秋口には結論を見出すとされているが、市町村議会議員年金が現在置かれている切迫した状況に鑑み、適切な措置を早急に講ずる必要がある。

よって、政府は、下記に基づき適切に対応するよう強く求める。

記

1. 地方議会議員年金制度の見直しに当たっては、本会案を真摯に受け止め、本会案に基づき見直しを行うこと。
2. 本年秋口に見直しについての結論を見出すためには、本会をはじめとする関係者の検討に一定の時間を要することから、早急に政府案を示すこと。
3. 破綻を回避し、平成23年度以降も年金・一時金の給付が可能となるよう本年度内に法改正を行うこと。

以上決議する。

平成22年5月26日

全国市議会議長会

平成22年5月27日

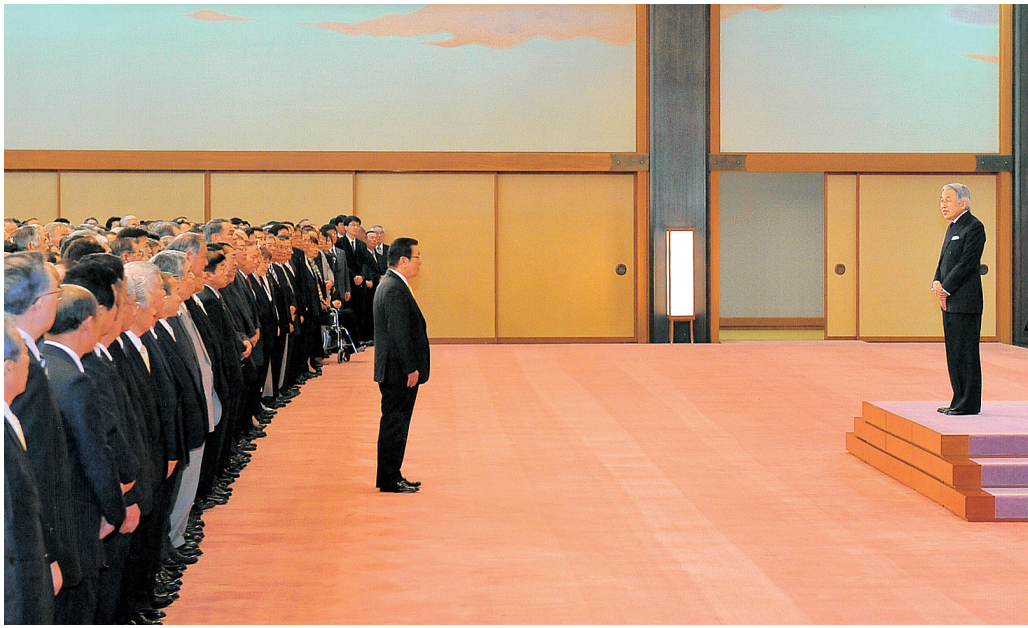
市議会議員共済会

市議会議員共済会が27日に採択した決議は、全国市議会議長会が26日に開催した第86回定期総会で採択した決議と内容を同じくするもの。両決議に掲げる要望事項の実現を図るため、全市議会は一丸となって、地元選出の国会議員へ制度見直しに対する理解を求めることとした。

本会が実現を求める見直しの内容とは、総務省の地方議会議員年金制度検討会が21年12月にまとめた報告書記載の「本会案」。給付の引き下げと掛金等の引き上げにより財政健全化を図ろうとする「A案」「B案」の対案となる。地方議会議員年金は14年と18年の制度改正で大幅な給付の引き下げ、議員負担の引き上げ——を実施。給付水準の削減と議員の負担は、既に自助努力の限界に達しており、本会では「A案」「B案」の受け入れを拒否してきた。対案として本会は、平成の大合併で未措置の影響額183億(試算値)を合併特例法に基づき、激変緩和措置として全額公費で措置することなどを提案している。

天皇陛下に拝謁

全国の市議長
にお言葉賜る



皇居・豊明殿にて（5月27日、写真は宮内庁提供）

全国市議会議長会の定期総会開催の翌27日、651市の議長（または副議長）が皇居・豊明殿に参殿し、天皇陛下への拝謁の栄に浴した。

参殿した一同を代表して本会の五本幸正会長は、陛下のご健勝をご祈念申し上げるとともに、「本格的な少子高齢社会を迎え、地方は解決すべき多くの課題を抱えておりますが、地域の文化や歴史を尊重しながら、活力ある地域社会を創造していくことが、我

が国の健全な発展につながるものと確信しております。これからも地方自治の確立と住民生活の向上のため、全力を挙げる決意であります」と言上した。

天皇陛下からは、「地方自治のために尽力されておられることを誠に苦勞に思いますが、さまざまな問題があることと察せられますが、皆さんの努力により、良い方向に進んでいくものと願っております。どうかくれぐれも身体を大切にされ、今後とも市民・区民の幸せと地域発展のために力を尽くされるよう願っております」との主旨のお言葉を賜った。

正副委員長を選任

本会5委員会が
合同会議を開催

定期総会終了後、国会対策委員会と地域主権に関する調査特別委員会を除く地方行政、地方財政、社会文教、産業経済、建設運輸の5委員会は、日比谷公会堂で合同会議を開き正副委員長を選任した。各委員会の正副委員長の氏名、所属議会は次のとおり。

◇地方行政委員会 委員長 高田正弘（井原市）、副委員長 宮忠志（恵庭市）、国兼晴子（大和市）◇地方財政委員会 委員長 榎元一己（西之表市）、副委員長 北猛俊（富良野市）、伊佐治由行（中津川市）◇社会文教委員会 委員長 石山米男（横手市）、副委員長 川本雅之（瀬戸市）、鈴木邦雄（四国中央市）◇産業経済委員会 委員長 青木章（幸手市）、副委員長 塩谷久司（羽咋市）、

議会人事

議長

- ▽町田 川畑一隆（3・9）
- ▽南房総 川名晴作（4・30）
- ▽春日部 会田幸一（5・10）
- ▽出水 高崎正風（5・10）
- ▽宮古 前川昌登（5・11）
- ▽始良 兼田勝久（5・11）
- ▽土別 山居忠彰（5・12）
- ▽津島 東國伸（5・12）
- ▽岩倉 馬路康子（5・12）
- ▽山県 久保田均（5・12）
- ▼副議長
- ▽町田 吉田つとむ（3・9）
- ▽南房総 栗原保博（4・30）
- ▽春日部 五十嵐みどり（5・10）
- ▽出水 杉本尚喜（5・10）

副議長

- ▽宮古 中里榮輝（5・11）
- ▽延岡 河野治満（5・11）
- ▽始良 出水昭彦（5・11）
- ▽土別 遠山昭二（5・12）
- ▽豊川 中村直巳（5・12）
- ▽津島 長尾日出男（5・12）
- ▽岩倉 榎谷規子（5・12）
- ▽山県 谷村松男（5・12）
- ▼事務局長
- ▽墨田 有田武雄（4・1）
- ▽松戸 松尾茂之（4・1）
- ▽三島 鈴木真雄（4・1）
- ▽松阪 石井千秋（4・1）
- ▽綾部 四方俊明（4・1）
- ▽大分 日小田順一（4・1）
- ▽臼杵 武田泰徳（4・1）
- ▽竹田 佐田亨（4・1）
- ▽杵築 三河伸治（4・1）
- ▽由布 長谷川澄男（4・1）

副会長、監事を補欠選任

5月25日理事会開催
全国市議会議長会は5月25

日、定期総会に先立ち、東京・全国都市会館で理事会を開いた。会議では、役員の任期途中の退任に伴う補欠選任を行い、副会長は定員4人の全員が、監事は5人のうち3人が選任された。氏名、所属議会は次のとおり。

◇副会長 五井文雄（長岡市）、岡田修一（前橋市）、大沢初男（豊橋市）、桑原敏幸（岩国市）◇監事 高橋淑郎（花巻市）、上田登（京田辺市）、出口憲二郎（小松島市）